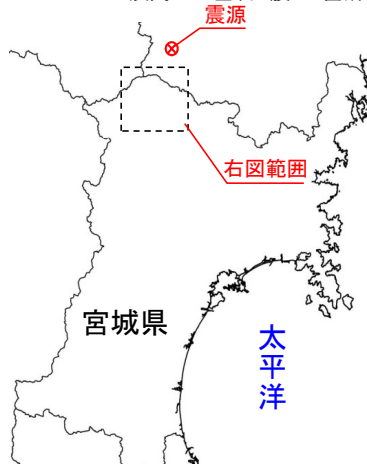


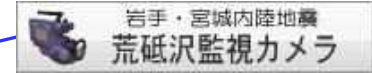
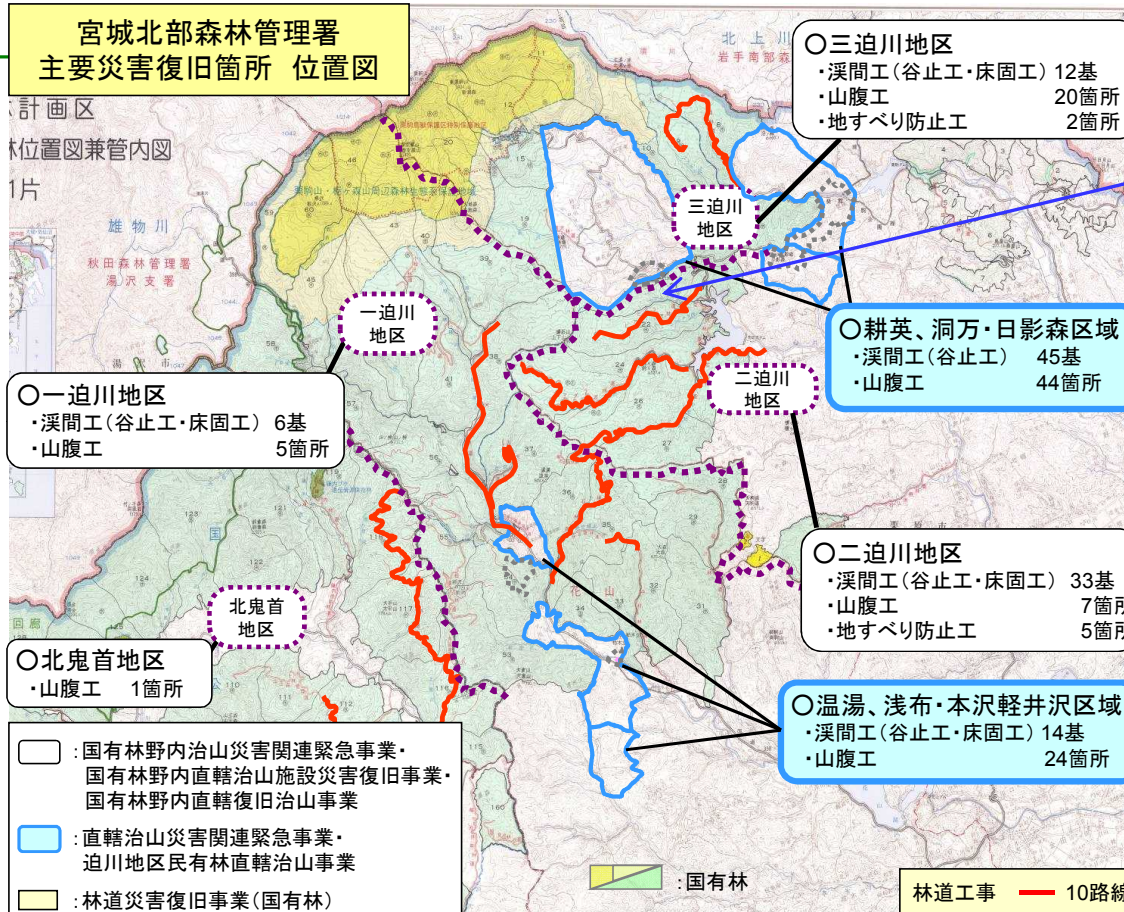
概要

被災箇所に係る復旧整備状況

- 平成27年度末まで
 - 国有林 治山事業：溪間工51基、山腹工33箇所、地すべり防止工7箇所
 - 民有林 直轄治山事業：溪間工59基、山腹工68箇所
 - 林道災害復旧事業：10路線
- 平成28年度計画
 - 国有林 治山事業：溪間工12基、山腹工1箇所
 - 民有林 直轄治山事業：溪間工 6基、山腹工4箇所



平成20年 岩手・宮城内陸地震の記録
 2008年6月14日 午前8時43分頃発生
 地震の規模 M7.2
 最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
 震源地 岩手県内陸南部
 震源の深さ 約8km
 山腹崩壊箇所 1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>



平成28年7月31日撮影

平成28年度 栗原市総合防災訓練 (パネル展示の様子)



平成20年岩手・宮城内陸地震の経験を踏まえ、栗原市では平成23年3月に6月14日を「防災の日」と定め、以降、毎年防災訓練を実施しています。

本年度の栗原市総合防災訓練は、栗原市と防災交流のある台湾花蓮懸消防局も参加し盛大に開催されました。

対策室では内陸地震による山地災害と復旧対策の進捗状況を紹介するパネル等の展示を行い、多くの市民の方々にご覧いただきました。

被災地の復旧状況 (溪間工の事例)

平成27年度 耕英岩魚沢Ⅱ (H26御沢) 治山工事



本施工地は栗原市栗駒耕英南地内に位置する北上川水系迫川支流三迫川支流の御沢の中流域に位置し、さらに下流域には県道、市道、民家などの重要な保全対象が存在します。

本溪流においては、当該地震により上下流に位置する山腹や溪岸が崩壊するとともに、大量の不安定土砂が谷に堆積しました。

そのため、下流への不安定土砂の流出を防止するとともに、溪流の縦侵食及び横侵食を防止することを目的として、被災時より複数の溪間工を設置してきたところですが、本溪間工はそのうちの下流域に設置した一基で、地震前に設置されていた溪間工と併せて溪流の安定化を向上させました。



平成28年度 工事施工箇所

復旧工事を進めます

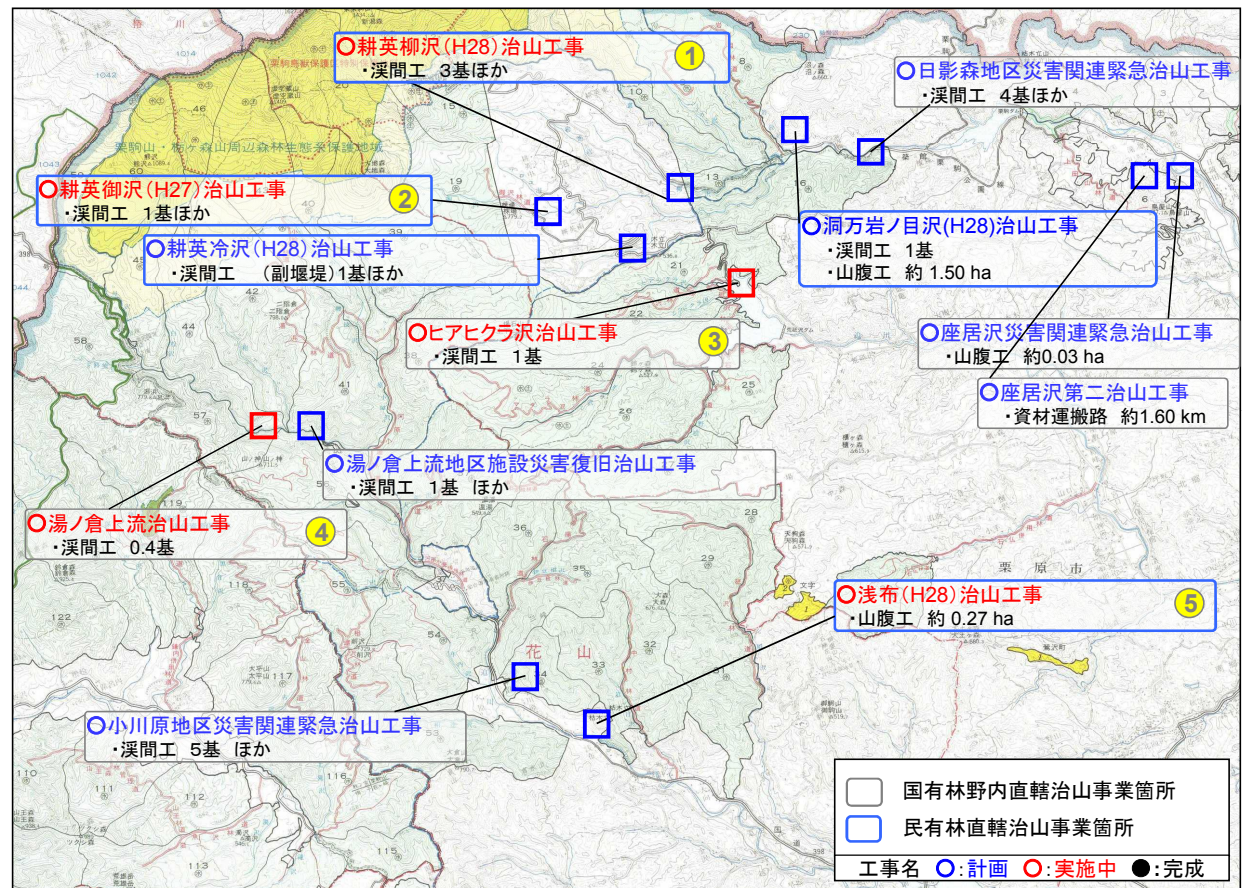
- ① 耕英柳沢 (H28) [溪間工(コンクリート床固工ほか)]
丁張を実施しています。



- ② 耕英御沢 (H27) [溪間工(コンクリート床固工ほか)]
工事箇所入口に工事看板を設置しました。工事車両が通行するため、通行の際は気をつけてください。



- ③ ヒアヒクラ沢 [溪間工(コンクリート谷止工)]
コンクリート打設を行っています。



- ④ 湯ノ倉上流 [溪間工(鋼製枠谷止工)]
鋼製枠組立・中詰を実施しています。



- ⑤ 浅布 (H28) [山腹工(簡易吹付法枠工ほか)]
簡易吹付法枠工予定箇所の全景。

